

第20回野間文芸翻訳賞決定のお知らせ

講談社は第20回野間文芸翻訳賞受賞者として、『三月は深き紅の淵を』（恩田陸著・講談社）を韓国語（ブックフォリオ 2006年刊）に翻訳したクォン・ヨンジュ氏を選定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

野間文芸翻訳賞とは

日本文化の海外への紹介および国際相互理解の増進に寄与することを目的に、講談社創業80周年を記念して1989年に創設されました。

隔年開催にて各回ごとに対象言語を設定、1945年以降の日本の文学作品を外国語に翻訳・発表した作品の中から最も優れた業績を上げた翻訳者に贈られます。

今回の対象言語は韓国語です。

- ・正賞：賞状
- ・副賞：1万米ドル
羽田・ソウル間往復ビジネスクラス航空券（提供：全日本空輸株式会社）
- ・選考委員：川村湊氏（法政大学教授）、きむふな氏（翻訳家）
ヤンユンオク氏（翻訳家）、渡辺直紀氏（武蔵大学教授）
- ・授賞式：9月8日 韓国ソウル・新羅ホテル

クォン・ヨンジュ氏プロフィール

ソウル大学外交学科卒、同大学院で英文学を専攻。翻訳作品は、恩田陸「Q&A」、「不連続の世界」、「月の裏側」、「まひるの月を追いかけて」、「像と耳鳴り」、「ユジニア」など、村上春樹「小澤征爾さんと、音楽について話をする」、「アフターダーク」、三津田信三「水魍の如き沈むもの」を含めた「刀城言耶シリーズ」、葉室燐「蝸ノ記」、森見登美彦「四畳半神話大系」、有栖川有栖「山伏地蔵坊の放浪」など多数。英語小説の翻訳でも知られる。長時間パソコンの前に座る生活から生まれた趣味は、ネット書店のバスケットに本をため込むこと。女性。